

けすみしんぶん

発行 けすみ振興会
住所 島根県邑智郡邑南町 下口羽 480-1
電話 0855-87-0002



「小さな拠点づくり」についてのお問い合わせは 邑南町羽須美支所 地域振興係 まで
TEL 08555・87・0221

「小さな拠点」けすみ文化プラザ改修

あすな地区応援隊と公民館が連携強化

阿須那公民館（はすみ文化プラザ）充実化検討案



- ④全体的に空調の整備と間仕切りの工夫
- ⑦倉庫の中も処分・整理
- ②公民館事務所と応援隊事務所の一体化
- ③図書館エリアの充実化
- ⑥中庭や外部スペースも有効活用したい 共同菜園・体験農園・手仕事サロンなど
- ①トイレの拡張
- ⑤研修宿泊エリアの有効活用を考えよう (予算があれば、シャワー・UB)

トイレ増設、子ども達の自習室も



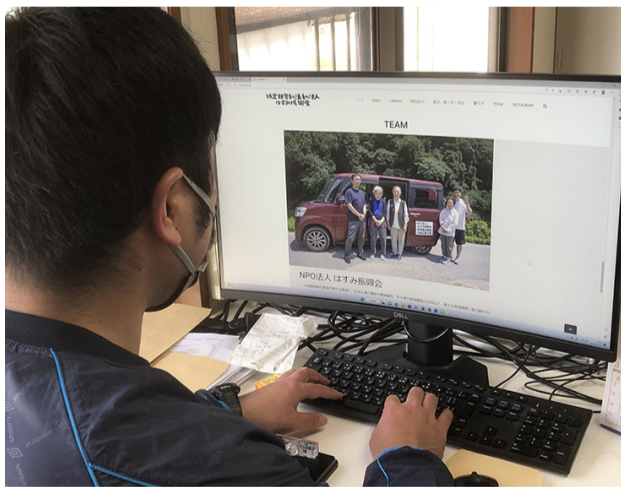
はすみ文化プラザの改修について話し合うあすな地区応援隊の会員

小さな拠点づくりモデル事業のハード整備事業で、阿須那地区で検討を進めている「暮らしのターミナル」を、阿須那公民館もある「はすみ文化プラザ」に位置付け、住民の利用しやすいように改修する方向で住民案がほぼ固まった。子供用の自習室、お風呂の設置、

トイレの拡充などを実施するほか、公民館とあすな地区応援隊事務局が同居し、世代を超えた地域づくりの拠点を目指す。「暮らしのターミナル」は、交通や福祉など住民サービスを一体的に提供する拠点で、羽須美地区の小さな拠点づくり事業を通じて生まれた考え

羽須美の情報満載ホームページ

「はすみ恩パーク」を開設



NPO法人はすみ振興会は、小さな拠点づくりの一環として、羽須美地域の情報を集めたポータルサイト「はすみ恩パーク」を開設した。地域で暮らす住民向けの情報に加えて、訪れる人にもタイムリーに情報を提供。ゲストハウスやトロッコなど、地域内の施設の

ホームページもリンクし、総合的な地域情報の発信を目指す。島根県小さな拠点づくりモデル地区推進事業の一環で、はすみ振興会のメンバーらがソフトを使って自作し、令和4年秋からオープン。「みんなつながる、つなげる、集いの場」をコンセプトに、小さ

方。人口減少が続く羽須美地区では、各機能が分散するよりも一カ所に集中したほうが、人員配置や維持管理経費の面からよいと判断した。3月9日に同プラザで開かれた住民ワークショップには15人が参加。

あすな地区応援隊が中心となつてまとめた素案を元に意見を出し合った。図書室内に自習室をつくるなどのアイデアについて、子ども達が集える工夫や間仕切りの在り方について意見が出た。また、施設内外のトイレの数を増やしたり、冷暖房が効くような工夫も検討するよう要望が出た。意見を踏まえて今後、

あすな地区応援隊が町に基本構想住民案を提出し、町が令和5年度に改修に向けた設計を行い、6年度に改修工事に取りかかる予定にしている。あすな地区応援隊の瀧本昭平会長は「公民館と応援隊が協力しながら、地域づくりを進めていく拠点にしていければうれしい」と話している。

な拠点づくりの事業の進捗状況などのほか、地域情報を満載している。トップページには羽須美の暮らしの風景が動画で表示され、「遊ぶ・食べる・泊まる」のコーナーには、軍原キャンプ場や上田平佐棚田保存会、INAKAイルミなどイベント情報、m i k k e、うづい通信部などのゲストハウスの情報などが掲載され、今後、住民の協力も得ながら内容を充実させていく予定だ。

はすみ振興会が開設したホームページ「はすみ恩パーク」のQRコード



「1年以上利用なし」の空き家

阿須那19%、口羽14%

町の実態調査で判明、対策急務

邑南町が町内の空き家について利用状況調査を行った結果、1年以上利用されていない空き家が、阿須那地区に全家屋

の19・1%にあたる111軒、口羽地区は13・7%の82軒あることが分かった。1年に1回以上利用がある空き家

地区名	常時居住	空き家(1年に1回以上利用あり)			空き家(1年以上利用なし)		更地・解体済み	分類不能	合計
		宿泊あり	宿泊なし	内容不明	損傷なし	損傷あり			
阿須那	278	96	63	14	76	35	13	7	582
口羽	291	66	88	39	69	13	23	10	599
市木	187	45	67	1	38	11	12	3	364
田所	541	77	99	15	55	26	27	4	844
出羽	242	32	37	0	35	9	3	8	366
高原	298	49	54	10	32	6	17	7	473
布施	81	8	10	2	24	6	8	3	142
矢上	697	47	97	21	46	18	14	25	965
中野	417	25	94	17	39	14	15	13	634
井原	245	28	37	13	34	13	6	9	385
日貫	183	14	22	1	33	14	17	9	293
日和	141	22	52	3	13	12	4	3	250

を含めると、常時居住していない空き家は両地区とも全家屋の5割を超えた。大きな損傷もなく

活用が可能な家も多く、定住増加に向けて空き家の活用が課題となる。

阿須那地区は、全家屋の582軒のうち、常時

居住者がいるのは278軒で、47・8%。空き家のうち1年に1回以上利用がある家は173軒あった。35軒は外観に大きな損傷があった。口羽

地区は全家屋599軒のうち、常時居住は291軒で、48・6%。空き家のうち1年に1回以上利用が193軒ある。大きな損傷がある家は13軒

だった。邑南町全体では、全家屋5897軒のうち空き家は34・5%にあたる2036軒だった。邑南町では、調査を元

に令和5年度から5年間の対策計画を策定することにしており、今後危険な建物の撤去や空き家の活用促進などに取り組むことにしている。

アフターコロナへイベントも再開

イルミ、楽うち、リゾートまつり

新型コロナウイルスの流行により、地域イベントも中止や規模縮小が相次いできたが、令和4年秋以降、少しずつ制限を緩和し、再開する動きが出始めた。INAKAイルミは3年ぶりに入場制限なしで開催したほか、口羽地区の楽うち、リゾートまつりなども感染防止を工夫しながら、室内外で催しを行ったほか、リゾートまつりも感染防止を工夫しながら、室内外で催しを行った。

たほか、リゾートまつりも感染防止を工夫しながら、室内外で催しを行った。

令和5年は、新型コロナウイルスに伴う制限が一層緩和される見込みで、5月21日の阿須那の次の日も、3年ぶりに傘鉾が復活する見通しで、各種イベントが少しずつ再開の動きを見せている。

宇都井駅公園が大賞

令和4年度しまね景観賞

島根県が主催する令和4年度「しまね景観賞」の大賞に、旧JR三江線宇都井駅の跡地周辺を整備した「三江線鉄道公園宇都井駅公園」が選ばれた。ことし30回目を迎えた景観賞で、大賞の選出は5年ぶり。

て、駅のある景観を維持。トロッコ運行や駅舎やトンネルの入場体験、宇都井地区の住民や地域外のボランティアとともに「INAKAイルミ」などのイベントを展開しながら廃線後もにぎわいを創出してきた。

受賞した宇都井駅公園は、平成30年の廃線後、町がJR西日本から取得し、トロッコ運行などを手掛けるNPO法人江の川鐵道(理事長・日高弘之)が指定管理者となっ

同賞は、まち・みどり、活動、土木施設、公共建築物など6部門に9件の応募があった。邑南町からは景観づくり貢献賞に川角集落の「天国に一番近い里」も選ばれた。



3年ぶりに制限なしで開催したINAKAイルミ

僧として修行続け、信者の相談も親身に

「江の川を清流に」願い込め、サケ放流

口羽・延命寺住職 口羽秀典さん

全国で神社仏閣の廃業が増える中、羽須美で約540年間続いているお寺がある。口羽にある吉祥山延命寺。住職の口羽秀典さん(73歳)の下には、全国から信者さんが訪れる。その中には、歌手の加藤登紀子さんや橋幸夫さん、漫才の宮川大助さん、

花子さんの名前もある。旧JR三江線の口羽駅から見て、出羽川を挟んだ対岸の小高い丘に、そのお寺はある。建立されたのは1484(文明16)年。戦国時代には琵琶甲城主、口羽通良の祈願道場だったことで知られる。浄土真宗が多い羽須美にあつて、高野山真言宗だ。

口羽さんはこの寺で生まれ、8人兄弟の末っ子だった。三次高校から、高野山大学に進んだ。仏教系の大学を出たものの、寺を継ぐつもりはなく、東京で教育関係の出版社に就職した。

住職だった父親が亡くなり、27歳の時にUターン。延命寺27代を継いだ。当時は檀家が1軒しかなく、収入のために羽須美村役場に勤めながらの兼業だった。妻の邦子さん(71歳)も小学校教員をしながら家計を支えた。

昭和59年、延命寺の開山500年を機に役場を退職。僧としての力を付

けることを目標に、厳しい修行にも励んだ。現在は、高野山真言宗では最高位の伝燈大阿闍梨の位を持つ。供養や祈祷と共に力を入れるのが、信者からの

悩み相談だ。その御利益が口コミで広がり、今や信者の数は1000人を超える。相談内容も会社経営、人生相談、病気など、多岐に渡る。

口羽住職は「地域おこし」の先頭にも立ってきただ。若い頃は、青年たちが活動する「リゾートはすみ振興会」を結成。村史を漫画にした「はすみ物語」も発刊した。現在

は、NPO法人江の川鮭の会の理事長も務める。目の前を流れる江の川が、清流に蘇ることを祈りながら、子どもたちと毎年鮭の放流を続ける。今年で29回目となった。「地域おこしも個人に頼ると、その人が居なくなると続かない。お祭りなど長い間続く活動の多くは、神社仏閣が関わっている」との信念がある。

あろく！あそぶ！あすな！

ウォークラリーに37人参加



チェックポイントに集まるウォークラリーの参加者たち

あすな地区応援隊交流部会は令和5年3月12日、阿須那公民館発着のウォークラリー「あろく！あそぶ！あすな！」を開催した。約3キロのコースで、3カ所のチェックポイントでは、さまざまな趣向で参加者が楽しみながら健康づくりに取り組んだ。

新型コロナウイルスの流行に伴い、地区運動会が中止になったことから、手軽に運動ができる催しとして初めて企画した。

子どもからお年寄りまで37人が参加。公民館

を出発し、田本を回って、阿須那町から美容室いと前を折り返すコースで実施。チェックポイントでは、投げ輪を成功させたり、見えない箱の中にある物を触って当てるクイズなど楽しみも用意。ゴールした人には、新しくつくったあすな地区応援隊のロゴマーク入りエコバックがプレゼントされた。

この日は、毎月第2日曜日に行われている「あすな市」に合わせて実施。ウォークラリーが終わった後に買い物を楽しむ姿も見られた。



1000人を超える信者の悩み相談に乗ることも多いと話す口羽秀典さん

地域マネージャー育成事業を開始

NPO法人 ひろしまね中心に トヨタ財団の助成事業に採択

NPO法人ひろしまね(邑南町下口羽、安藤周治理事長)を中心とした「次世代につながる中山間地域の新しいコミュニティマネージメント研究会」は、

2022年度のトヨタ財団国内助成プログラムで、「自治型社会を担う地域マネージャーの育成プログラム」の構築及び配置プログラムの設計」事業で、採択を受けた。本事業を

通じて地域運営組織を運営するために必要な知識・技能を身につけるカリキュラムの構築と人材育成に取り組む。

トヨタ財団は、市民・住民自治を育むためのプロジェクトを支援するためのプログラムを実施。国内助成プログラム「地域における自治を推進するための基盤づくり」の枠組みでは、各地域の自

治を育むためのプロジェクトを支援しており、

2022年度は全国から107件の応募があり、

当プロジェクトを含む8件が採択された。

また、地域マネージャー配置には、収入の確保が課題となっており、複数の地域組織を兼務するなど、持続的に収入を得ながら地域で活動するモデルの構築を目指す考えた。

また、地域マネージャー配置には、収入の確保が課題となっており、

複数の地域組織を兼務するなど、持続的に収入を得ながら地域で活動するモデルの構築を目指す考えた。

ひろしまね首席研究員で、プロジェクトリーダーの嶋渡克顕さんは「これ

まで先輩達が、20年近く議論されてきたテーマで、今回、大きな一歩を踏み出させてもらえるこ

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと

繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。

とに感謝。自分自身もまた次の世代へしっかりと繋いでいきたい」と話している。



地域マネージャーの育成を目指した講習会で、地域運営のノウハウを学ぶ参加者

課題解決チャレンジ補助金募集

1件10万円 D I Yや地産地消支援

邑南町は羽須美地域で取り組む「小さな拠点づくり」モデル地区推進事業で、地域外に住む「関係人口」と連携して課題解決につながる事業を支援する「チャレンジ補助金」の活用団体を募集している。

対象は、羽須美地域に拠点を置く自治体等の地縁団体、NPO法人等の法

人のほか、5人以上で構成する任意団体(羽須美地域の住民が3人以上)。対象事業は、関係人口と地域住民による課題解決の仕組みづくりに資する事業で、例えば、交流の場づくりに向けた空き家の片付けやD I Yの資材費、耕作放棄地や荒廃森林などの再生、地産地消の取り組みなど。

事業実施は令和5年4月〜令和6年2月までで、1件あたり上限10万円(自己負担は問わない)。

事業終了後に取り組み内容や収支について報告書の提出が必要。申込み、問合せは役場羽須美支所 地域振興係(電話0855・87・0221)へ。

はすみしんぶんを無料でお届けします！

NPO法人はすみ振興会が発行しているはすみしんぶんを町外に住まれている方に無料でお届けします。

はすみしんぶんは、令和3〜6年度に年3回発行する予定です。羽須美地域の皆さまには全戸に配布します。

役場羽須美支所、阿須那・口羽両公民館等に用意しておりますので、ご自由にお持ち帰りく

ださい。

また、羽須美地域以外にお住まいのご兄弟やお子さん、ご親戚、同級生、この地域に関心のある方など、ご希望の方に令和6年まで無料で送付させていただきます。「この方に送付してほしい」とご希望がありましたら、先方に送付のご了解をいただいた上で、はすみ振興会(電話0855・87・0002)へご連絡ください。

羽須美地域で活動する地域おこし協力隊募集

地域おこし協力隊募集

邑南町は、羽須美地域で活動する地域おこし協力隊「ふるさとリノベーター」1人を募集している。NPO法人はすみ振

興会で研修を受けながら、地域マネージャーとして活動する意欲のある人を求めている。

地域おこし協力隊は、総務省が都市部から地方への移住を促し、地域活性化を進める政策として実施しており、任期は最大3年間。協力隊は個人事業主となり、地域の団体や企業などで研修を行



地域おこし協力隊の募集要項はこちらから！

問い合わせ、申込みは、邑南町役場羽須美支所 地域振興係(電話0855・87・0221)へ。